

2017年『第15回技術講演会』プログラム

場所:品川インターシティホール 主催:新製剤技術とエンジニアリングを考える会

2017年7月19日(水)		2017年7月20日(木)					
-	10:00~ 10:10		『開会の挨拶』	1	9:50~ 10:35	Sharmista Chatterjee Division Director, Process Assessment II Office of Process & Facilities (OPF), U.S. Food and Drug Administration 『バッチ生産から連続生産(CM)への転換におけるFDAの視点』	TV講演
1	10:10~ 10:55	尾山 和信 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部 主任専門委員 『先駆け審査指定制度－再生医療等製品の品質の課題と論点』		2	10:35~ 11:20	大家 義則 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学(眼科学) 助教 『角膜上皮の再生医療』	
2	10:55~ 11:40	Niklas Sandler Professor, Pharmaceutical Sciences Laboratory, Åbo Akademi Univeristy 『テーラーメイドの原薬と製剤製造のためのエマージングテクノロジー: 2D/3Dプリンティング技術』		3	11:20~ 12:05	Donald Barbieri Technical Products Manager, Marketing, SPI Pharma 『さまざまな個別の服薬ニーズを満たすための患者にやさしい製剤設計』	
-	11:40~ 12:30	<i>Lunch Time (50分)</i>		-	12:05~ 12:55	~ランチョンセミナー(20分)~ 長門 琢也 株式会社パウレック 技術本部 研究開発部 マネージャー 『連続プロセスおよび最新技術のご紹介』	
3	12:30~ 13:15	Lawrence De Belder Senior Principal Engineer, Technical Operations, Janssen Supply Chain Johnson and Johnson 『既存薬および新薬への連続生産を導入するための検討』		4	12:55~ 13:40	Christine M. V. Moore Executive Director and Global Head, CMC Policy Merck, Sharp and Dohme Corp. 『ブレイクスルーセラピーと審査迅速化に関する世界の規制当局の取り組み』	
4	13:15~ 14:00	石本 隼人 エーザイ株式会社 メディシン開発センター PST機能ユニット 製剤研究部 主幹研究員 『エーザイにおける連続生産実用化への取り組み』		5	13:40~ 14:25	田熊 晋也 中外製薬工業株式会社 代表取締役社長 『中外製薬における抗体医薬品開発と生産の現状ならびに将来展望』	
-	14:00~ 14:20	<i>Coffee Break (20分)</i>		-	14:25~ 14:45	<i>Coffee Break (20分)</i>	
-	14:20~ 14:40	一般財団法人 新製剤技術とエンジニアリング振興基金 研究助成金 目録贈呈式 および 15周年記念 感謝楯贈呈式					
5	14:40~ 15:25	Gordon L. Amidon Professor, Department of Pharmaceutical Sciences The University of Michigan, College of Pharmacy 『BCS (生物薬剤学分類システム)とそのサブ分類: in vivoでの溶解性予測法: 消化管シミュレーター』		6	14:45~ 15:30	佐藤 嘉信 武田薬品工業株式会社 ファーマシューティカル・サイエンス フォーマキュレーション・デベロップメント 主席研究員 『固形製剤の連続生産プロセス導入に向けた技術検討』	
6	15:25~ 16:10	東條 健 日本新薬株式会社 小田原総合製剤工場 製造企画部 専任課長 『コンテインメント対応工場設計におけるリスクマネジメントの実践』		7	15:30~ 16:15	小島 宏行 アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究所 経口剤設計研究室 室長 『製薬企業における小児製剤開発の取り組み～アフリカの子供たちにクスリを届ける～』	
7	16:10~ 16:55	トーステン・ポール ペーリンガーインゲルハイムジャパン株式会社 代表取締役社長 『日本市場における多国籍製薬企業の競争戦略 - 激変のバリューチェーン-』		-	16:15~ 16:20	『閉会の挨拶と来年度の計画について』	
-	17:25~ 19:25	交流会				※プログラムは都合により一部変更の可能性がございます。	